

㉒ 2 解説

「女性の生き方」については、「家事や地域活動を夫と分かち合い、仕事と家庭を両立」、「結婚や出産で一時家庭に入るが、育児が終わると再び仕事」と答えた人の比率は8割を超え、大多数が家庭と仕事の両立を望んでいることが分かります。

3市の比較では、「結婚を契機に仕事をやめ、家庭に入る」ことを望ましいと思っている人の比率に特徴が見られ、出雲市0.6%、塩尻市3.7%に対して、都留市では8.1%と2市に比べて高い比率となっておりますが、これは仕事と家庭を両立できるような働く場所の状況と関係するものと思われます。

㉒ 3 「男性の生き方」として、あなたが望ましいと思うのはどのような生き方でしょうか。

(1つ選択)(女性も回答)

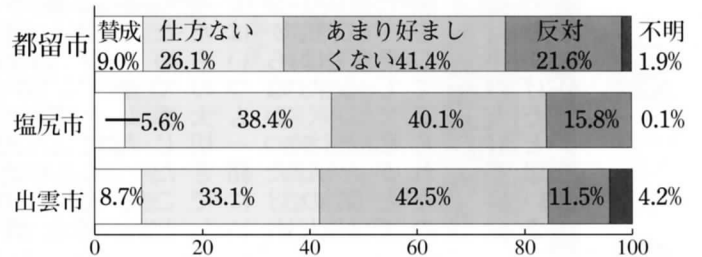
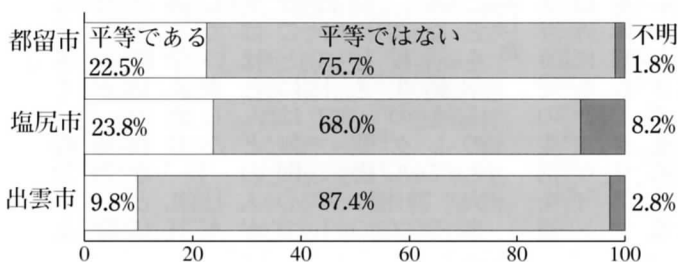
項目	都留市	塩尻市	出雲市
結婚せず仕事や趣味に生きる	2.7%	0.3%	0.0%
結婚しても、子どもは持たず、仕事や趣味を優先	0.0%	0.6%	0.0%
家事や地域活動は妻に任せ、仕事に専念する	3.6%	3.9%	1.2%
家事や地域活動を尊重するが、あくまで仕事を優先	30.6%	30.1%	27.2%
家事や地域活動を妻と分かち合い、仕事と家庭を両立	55.9%	58.7%	65.1%
どちらかといえば、仕事より家庭や地域活動などを優先	1.8%	2.2%	2.4%
その他	2.7%	2.5%	4.1%
不明	2.7%	1.7%	0.0%

㉒ 3 解説

「男性の生き方」としては、「家事や地域活動を妻と分かち合い、仕事と家庭を両立」を望む人が3市ともに過半数を超えており、問2の回答と併せますと、男性、女性ともに家事や地域活動を分かち合い、仕事と家庭を両立させた生き方を望む人が多い状況がうかがえます。3市を比較しますと、出雲市、塩尻市、都留市の順で、仕事を優先する男性の比率が高くなり、都留市では出雲市、塩尻市に比べて、男性は仕事、女性は家庭といった考え方を持つ人の比率が高くなっております。

㉒ 4 現在、世の中は男女平等だと思いますか。
(どちらかを選択)

㉒ 5 「男は仕事、女は家庭」という性別によって役割を固定する考え方について、あなたはどのように思いますか。



㉒ 4 解説

男女が平等であると答えた人は、出雲市が9.8%であるのに対して、塩尻市23.8%、都留市22.5%と、共に倍以上の数に上っています。また、平等ではないと感じている人は、出雲市で87.4%、都留市で75.7%、塩尻市でも68.0%の人が、平等ではないと感じており、男女共同参画社会の到来には、まだまだ時間を要することがうかがえます。

㉒ 5 解説

最も多いのは「あまり好ましくない」で、次に「仕方がない」、「反対である」が続く。「あまり好ましくない」、「仕方がない」双方で7割前後を占める結果となり、漠然とした嫌悪感や、あきらめてきな容認の姿勢がうかがえます。なお、この中で、はっきり「反対である」と回答した人は、都留市、塩尻市、出雲市の順で特に、都留市では2割を超える人が「反対である」としており注目されます。